

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人
遠賀町社会福祉協議会

★目次★

序文	1
＜総務系＞	
Ⅰ．定例役員会の開催	2～4
Ⅱ．会計・経理	5
Ⅲ．会員増員の推進	5
Ⅳ．その他の庶務	6～8
＜事業系＞	
Ⅰ．地域福祉活動の促進	9～12
Ⅱ．ボランティア活動の啓発・支援・推進	13～14
Ⅲ．福祉教育活動の推進・啓発活動の充実	15～16
Ⅳ．他団体との協力による地域福祉の促進	16～17
Ⅴ．いきいきデイサービス事業【町受託事業】	18～19
Ⅵ．地域子育て支援拠点事業【町受託事業】	20～23
Ⅶ．障がいを抱える方への支援の推進	24
Ⅷ．生活困窮者への支援の推進	25～27
Ⅸ．相談支援・権利擁護事業の拡充	28
Ⅹ．その他の事業	29
社会福祉法人福岡県共同募金会遠賀町支会の取り組み	30～32

★事業報告★

令和3年度は、第4次地域福祉活動計画（平成30年～令和3年度）の集大成となる一年でした。4年間で蓄積したデータを分析し、既存活動を再評価することで、各事業が今の時代に適応した形になるよう、適宜、修正を行いました。

令和3年度も、依然として、新型コロナウイルス感染症の脅威が止まることはありませんでした。緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発出と解除が繰り返され、その度に、地域福祉は変化を求められました。

特に、生活支援体制整備事業や福祉ネットワーク活動等は、各行政区が地区行事をはじめ、会議も極力実施しないといった活動自粛ムードの中にあり、その事業展開は極めて困難なものになりました。

生活支援体制整備事業の主たる活動の一つ「第2層協議体の運営」とは、地域住民との語り合いの場を創出することですが、コロナ禍においては、単に集いの回数を重ねるのではなく、集まること・つながり合うことの本質的な意味を問い、一つの集いによって生じる効果が最大限に発揮されるよう、集いの質の担保に注力しました。

同様に、集いが基礎となる事業としては、「いきいきクラブ」や「地域子育て支援ひろばぐっぴい」等がありますが、これらの事業においても、事業の本質を掴み、集い以外の方法による支援の在り方を模索しました。

また、個別支援においては、一昨年度から、生活福祉資金特例貸付の窓口としての機能を引き続き担っていますが、様々な地域住民と会話を重ねる中で、「ふくおかライフレスキュー事業」、「緊急用食糧等給付事業」等、現金貸付に依らない家計支援の在り方が生まれました。

さらに、災害対策としては、職員間で災害ボランティアセンター（以下、災害VC）運営訓練を実施しました。令和3年度は、地域住民にも協力いただき、より実践に近い訓練となるよう意識しています。

以上、福祉的つながりの価値から本会事業の在り方を問い直し、時流に合わせて変えるべきものは変え、変わらずに大切にすべきものにはアップデートを施すことで、未曾有の状況に対し、職員一丸の精神で取り組んだ一年です。

令和3年度事業実績の詳細は、次のとおりです。

☆事業内容☆ <総務系>

I. 定例役員会の開催

社会福祉法人である本会の経営組織は、業務執行の決定機関である理事会、法人運営に係る重要事項の議決機関である評議員会、理事の職務執行の監査を行う監事で運営されています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面決議での実施を複数回行いました。

新型コロナウイルス感染防止の観点から、適宜、書面による開催を図り、直接的な集合を最小限に留めて実施。

(1) 理事会

開催回	開催日	協議内容
第1回	書面決議 会長署名日： 5月28日	議案第1号 理事及び監事候補者の推薦について 議案第2号 評議員候補者の推薦について 議案第3号 令和2年度遠賀町社会福祉協議会事業報告の承認について 議案第4号 令和2年度遠賀町社会福祉協議会決算報告書類の承認について 議案第5号 定時評議員会の開催について 報告第1号 社会福祉充実残額について
第2回	6月17日	議案第1号 会長の選任について 議案第2号 副会長の選任について 議案第3号 評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第4号 顧問の選任同意について
第3回	9月23日	議案第1号 令和3年遠賀町社会福祉協議会補正予算（第1号）について 議案第2号 職員就業規則の一部改正について 議案第3号 育児休業等に関する規程の全部改正について 議案第4号 介護休業等に関する規程の全部改正について 議案第5号 第2回評議員会の開催について

開催回	開催日	協議内容
第4回	12月17日	議案第1号 表彰規程の一部改正について 議案第2号 令和3年度遠賀町社会福祉協議会補正予算（第2号）について
第5回	書面決議 会長署名日： 1月29日	議案第1号 育児休業等に関する規程の全部改正について
第6回	3月22日	議案第1号 令和3年度遠賀町社会福祉協議会補正予算（第3号）について 議案第2号 令和4年度遠賀町社会福祉協議会事業計画書及び予算書について 議案第3号 地区福祉ネットワーク推進委員会事業助成金交付要綱の一部改正について 議案第4号 ボランティア活動保険助成金交付要綱の制定について 議案第5号 障がい者団体間交流促進活動助成金交付要綱の制定について 議案第6号 役員等賠償責任保険の契約の締結について 議案第7号 定時評議員会の開催について 報告第1号 会長の職務状況の報告について 報告第2号 「第2次遠賀町地域福祉計画・第4次地域福祉活動計画」について 報告第3号 徴収不能引当金の報告について

(2) 評議員会

開催回	開催日	協議内容
第1回	書面決議 会長署名日： 6月17日	議案第1号 次期理事及び監事の選任について 議案第2号 令和2年度遠賀町社会福祉協議会事業報告及び決算報告書類の承認について
第2回	書面決議 会長署名日： 9月22日	議案第1号 令和3年度遠賀町社会福祉協議会補正予算（第1号）の承認について 報告第1号 規則及び規程等の改正について
第3回	書面決議 会長署名日： 3月29日	議案第1号 令和3年度遠賀町社会福祉協議会補正予算（第2号）の承認について 議案第2号 令和3年度遠賀町社会福祉協議会補正予算（第3号）の承認について 議案第3号 令和4年度遠賀町社会福祉協議会事業計画書及び予算書の承認について 報告第1号 要綱の改正及び制定について

(3) 監査

開催回	開催日	協議内容
第1回	5月20日	令和2年度業務監査 令和2年度決算に伴う諸帳簿・伝票・決算書類等の監査 令和2年度福岡県共同募金会遠賀町支会会計決算監査

Ⅱ. 会計・経理

定期的に税理士からの監査を受け、公正な会計処理を行いました。

月日	内 容
4月27日	令和2年度2、3月分 税理士による監査
5月20日	令和2年度分 社協監事による監査
5月26日	令和2年度分 税理士による税額計算報告・総評 (※緊急事態宣言下のため、電話にて説明を受ける。)
7月9日	令和3年度4、5月分 税理士による月例監査
8月31日	令和3年度6、7月分 税理士による月例監査
10月29日	令和3年度8、9月分 税理士による月例監査
12月22日	令和3年度10、11月分 税理士による月例監査
3月17日	令和3年度12、1月分 税理士による月例監査

Ⅲ. 会員増員の推進

本町に在住する方、社会福祉関係機関及び本町に事務所又は事務所を有する団体で、本会の目的に賛同し本会に入会していただいた方を会員としています。

地域福祉活動の発展のための財源として、区長の協力の下、広く町民や事業所への訪問を通じて会費協力に務めました。

合計：4,493件 2,867,550円（昨年度：4,553件 2,836,890円）

	協力数（件）	金額（円）
一般会員	4,388	2,193,550
賛助会員	64	64,000
特別会員	41	610,000

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、特別会費は、文書での依頼となった。昨年度から件数は減少したが、浄財額は増加するかたちとなった。

コロナ禍における福祉的役割への期待が反映したものと見られる。

IV. その他の庶務

(1) 寄付の受入れ

香典返しによる寄付件数は減少傾向にありますが、本年度は1回の寄付額が大きかった方がおられ、昨年度に比べ増加しています。

合計：51件 1,429,365円（昨年度：67件 1,367,756円）

	協力数（件）	金額（円）
一般寄付	4	124,365
香典返し	47	1,305,000
福祉まつり		

※福祉まつりは中止。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から家族葬が増加したことも香典返しによる寄付件数減少の要因と考えられる。

(2) 職員の安全衛生管理・労務管理

職員の安全衛生を図るため、下記内容に取り組みました。

月日	内 容
4～3月 (月1回)	気になるリスクの確認 4S（整理・整頓・清掃・清潔）活動の実施
6月28、29日	健康診断
9月15日	育児休業・介護休業事務研修会
5月21日 7月21日 9月8日 12月3日 2月25日 3月25日	保健師による健康相談 (西日本産業衛生会)
5月21日 12月3日 2月25日	嘱託産業医による健康相談 (西日本産業衛生会)

(3) 職員の知識技能習得のための研修会への参加

地域福祉事業を行うためには、現在の福祉の動向を十分に理解している必要があるため、職員の資質の向上、スキルアップを図るよう研修会への参加等を積極的に行いました。

月	日	研修内容
6	8	遠賀町防災訓練
7	1	災害V C 設置運営訓練ステップアップ研修※
	2	日常生活自立支援事業専門員研修 I
10	5	災害V C 設置運営訓練 全体研修※
	15	安全運転管理者講習会
	21	福岡県防災後援会
11	6、7	福岡県防災士養成研修（2名）
	10	福岡県法律相談合同研修会
	13、14	福岡県防災士養成研修（3名）
	24	ふくおかライフレスキュー事業 フォローアップ研修※
	17	市町村社会福祉協議会会長・事務局長研修会
2	17	ふくおかライフレスキュー事業 サポーター養成講座※
3	8	任意後見・補助・保佐等の相談体制強化・広報事業セミナー※
	29	災害V C 設置運営訓練

※オンライン研修・動画視聴型研修

(4) 会議等への職員の派遣

地域福祉の関係者として、遠賀町で実施される会議に出席しました。

会議名	出席回数
遠賀町あんしん地域づくり協議会	1
遠賀町障がい者施策等検討委員会	0
遠賀町子ども子育て会議	1 (書面開催)
遠賀町生涯学習推進協議会	2 (書面開催)
遠賀町地域福祉計画策定委員会	4 (内2回書面開催)
遠賀町地域福祉計画推進ワーキング	3 (書面開催)
遠賀町高齢者保健福祉計画策定委員会	0
遠賀町障害福祉サービス審査会	6 (内2回書面開催)

☆事業内容☆ <事業系>

I. 地域福祉活動の促進

1. 福祉ネットワーク活動

研修会やオリエンテーション等を通して、地区訪問による課題の把握等を予定していましたが、各行政区が、地区行事をはじめ、会議等も極力実施しないといった自粛活動の中、予定の事業を思うように実施できませんでした。

(1) 福祉ネットワーク推進委員研修会

2月に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

(2) 福祉ネットワーク正副推進委員新人研修会

新人区長や民生委員向けの学習を希望する福祉ネットワーク推進委員会に本会職員が訪問し、研修会を実施しました。

開催地区：1地区（昨年度：中止）

参加者数：11名（昨年度：中止）

月日	地区名	参加者数
6月12日	松の本区	11

(3) 福祉ネットワークオリエンテーション

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域福祉活動が自粛傾向にある中で、1地区に訪問させていただき、地区福祉ネットワーク推進委員を対象に、福祉ネットワーク事業及び生活支援体制整備事業についての説明を行いました。

開催地区：1地区（昨年度：3地区）

参加者数：13名（昨年度：53名）

月日	地区名	参加者数
3月19日	遠賀川区	13

地区によっては、感染予防の観点から地域活動は一切中止すべきとの意見があり、研修会やオリエンテーション等、学習を主とする取組みは縮減された。

一方、サロン事業は昨年度と比較し増加しており、コロナ禍による不安と繋がりを求める気持ちとの間に地域住民のジレンマを感じる。

今後も、個々の想いを丁寧に傾聴し、地域住民の心のペースに合わせた地域福祉の推進が求められる。

(4) 福祉ネットワーク友愛訪問

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ビデオメッセージ（DVD）を添えて、町内高齢者施設に届けて世代間交流を促進しました。

鉢植え数：1,090 鉢（昨年度：1,030 鉢）

実施日	学校名	鉢植え数（鉢）
11 月 12 日	島門小学校	380
11 月 12 日	広渡小学校	360
11 月 10 日	浅木小学校	350

(5) 介護予防型サロン活動

教室名	資格	講師名
体操教室	運動指導士	一井 久美子 氏 淵上 香 氏
	レクリエーション インストラクター	田仲 靖子 氏
口腔教室	歯科衛生士	手島 恵美 氏 吉廣 むつ子 氏
栄養教室	栄養士	奥尾 久美子 氏

実施回数：86 回（昨年度：53 回）

開催地区：20 地区（昨年度：18 地区）

延参加者数：1,462 名（昨年度：896 名）

地区名	回数	地区名	回数	地区名	回数
島 津	1	松の本	6	若葉台	1
若 松	2	遠賀川	5	東和苑	12
鬼 津	9	旧 停	1	浅 木	5
尾 崎	8	新 町	0	虫生津	4
田園北	5	中 央	1	芙 蓉	3
田園南	2	広 渡	3	緑ヶ丘	4
別 府	4	木 守	3	老 良	4
今古賀	3	上別府	0		

※本会が講師調整した活動及び職員が訪問した活動の集計。

開催地区、実施回数ともに昨年度から増加した。コロナ禍でも、感染予防を徹底し、集いの場を維持したいという想いは地域の中に感じられる。

サロン事業の他、地域活動を行っている地区には、取材を含め積極的に訪問しており、参加者から集えることへの喜びの言葉を聞いている。

引き続き、感染予防に留意し、介護予防型サロンの促進に努める。

2. 生活支援体制整備事業（第2層生活支援コーディネーター）

【町受託事業】

福岡県コロナ警報の発動、まん延防止等重点措置、新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言の断続的発令により、10月までの間は、事業を中止または延期しなければならない状況でした。

このような中でも、各地区を調査し、社会資源の見える化や高齢者世帯の把握、見守り訪問活動等を通じて、住民同士の顔が見える関係性づくりに努めました。

また、地区の区長、民生児童委員の後押しもあり、発令解除期に、「第2層協議体設置研修会」「3校区合同協議体」を開催することができました。

（1）校区単位での取り組み

3月6日のまん延防止等重点措置解除を受け、各区長のご理解ご協力により「3校区合同協議体」を開催し、高齢者支援の今後についてグループワークを行いました。

【3校区合同協議体】

テーマ：「校区活動のこれから

～みんなが安心して暮らせる地域を目指して～」

講師：北九州市立大学 地域創生学群 特任教員

勅使河原 航 氏

延参加者数：21名

月日	校区	参加者数
3月26日	島門校区	7
	広渡校区	6
	浅木校区	8



【地区訪問】

第2層協議体の設置研修会の後、早い段階で会議を持ってもらえるよう働きかけを行うため、区長宅を訪問しました。コロナ禍のため、校区単位の広域的活動に消極的な意見がありましたが、行政区単位での小地域活動ならば可能という区が多く、第3層協議体として取り組みました。

第3層協議体設置数：3地区

月日	地区	参加者数	内容
12月18日	鬼津	6	気軽に見守れる体制づくりについて
11月18日	尾崎	12	認知症徘徊者への対応について
12月2日		10	
1月20日		13	
8月2日	芙蓉	6	高齢者世帯への買い物支援について
10月18日		15	
1月11日		6	

(2) 研修会の実施

「第2層協議体設置研修会」を開催しました。行政区から代表者6名に参加いただき、昨年できなかった地域福祉活動の振り返りと「今後、高齢者支援に必要となる活動」についてグループワークを行いました。

【第2層協議体設置研修会】

テーマ：「生活支援体制整備事業と協議体について」

講師：北九州市立大学 地域創生学群 特任教員

勅使河原 航 氏

延参加者数：103名

月日	校区	参加者数
7月10日	広渡校区	35
8月5日	浅木校区	25
10月28日	島門校区	41

(3) 第1層生活支援コーディネーターとの連携

地域包括支援センターと毎月1回の月例定例会議を実施しました。活動の進捗状況の報告や事業内容の説明等、協議しました。

予定していた報告会及び研修会は、地区の自粛対策はもちろん、講師からも開催に対する懸念が強く、延期や中止を余儀なくされたが、最終的に第2層協議体が設置できた。

Ⅱ. ボランティア活動の啓発・支援・推進

1. ボランティアセンターの運営

(1) ボランティア連絡協議会への活動支援

ボランティア連絡協議会の運営支援を行いました。令和3年度の総会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、昨年度と同様に書面開催となりました。定例会の中で、コロナ禍における各団体の取り組みや団体状況等について情報交換を行いました。

(2) ボランティアグループの支援と助成

「赤い羽根で広がる！福祉ボランティア育成助成事業」を通して、団体のボランティア活動の機会を支援しました。

令和3年度は、傾聴ボランティア「ひなたぼっこ」による申請があり、会員のスキルアップ研修会に活用されました。

申請団体数：1件（昨年度：3件）

申請辞退数：0件（昨年度：3件）

助成団体数：1件（昨年度：0件）

(3) ちょこっとお手伝いボランティアの養成と活動支援

新型コロナウイルス感染症の拡大により、開催時期の調整が困難となり、今年度のフォローアップ研修は中止しました。

ちょこっとお手伝いボランティア延活動者数：466名（昨年度：454名）

月	延活動者数	月	延活動者数
4	43	10	40
5	41	11	46
6	41	12	36
7	37	1	31
8	39	2	31
9	40	3	41

（４）個人ボランティアの活動支援

新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない中においても、趣味や特技を活かしたボランティア活動として、町内福祉施設でのボランティア活動を支援しました。

しかしながら、多くの福祉施設において、ボランティアニーズがあるものの、受け入れ態勢が難しい状況にあるため、各施設職員とコロナ禍での施設内でのボランティア活動について情報交換を行いました。

個人ボランティア延活動者数：43名（昨年度：31名）

月	延活動者数	月	延活動者数
4	4	10	4
5	4	11	4
6	4	12	3
7	4	1	4
8	3	2	4
9	2	3	3

施設サービスの利用者との関係が途絶えないよう、非接触で交流活動について、情報提供等を行ったが、実際の活動までにはつながらなかった。

2. 災害時における災害V Cの立ち上げ

（１）災害V C設置運営訓練の実施

福岡県社会福祉協議会指導の下、設置場所となっているふれあいの里で災害V C設置運営訓練を行いました。当日は、遠賀町防火防災クラブにも参加いただきました。

実施日：7月3日

参加者数：14名

（２）各種研修会への参加

災害福祉支援セミナーと郡社協連絡協議会での災害V C設置運営訓練に参加しました。

昨年度、災害V Cの設置運営に際して、主に福岡県社会福祉協議会との連携・支援が極めて重要と分析していたとおり、今年度も引き続き、関係強化に努めることができた。

県社会福祉協議会との訓練が今後、定例化されるよう来年度も継続実施を図る。

Ⅲ. 福祉教育活動の推進・啓発活動の充実

1. 地域における福祉教育

(1) 広報誌「社協だより」

発行冊数：8,280 冊（昨年度：8,280 冊）

発行月	主な内容
4	令和3年度事業計画・予算
7	令和2年度事業報告・決算
9	令和3年度赤い羽根共同募金 PR
11	地域活動・本会事業の紹介
1	令和3年度赤い羽根共同募金報告

(2) 住民福祉講演会

レクリエーション活動を通じて、コロナ禍においても、ボランティア自身が楽しみながら各種活動に取り組むことの必要性と、ボランティアへの取り組みにおいて、人と人とのつながりを継続できるための講話と演習を指導していただきました。

テーマ：「5D運動で福祉のまちづくりに参画・貢献」

講師：NPO 法人 福岡県レクリエーション協会

専務理事 佐藤 典靖 氏

2. 学校における福祉教育

(1) 小学校福祉教室

例年は朗読ボランティアによる「福祉教育教材」の読み聞かせを行っていましたが、昨年同様、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため冊子の配布のみとなりました。

配布数：193 冊（昨年度：200 冊）

学校名	配布数（冊）
島門小学校	97
広渡小学校	52
浅木小学校	44

町からの指示で、8 頁から 6 頁に縮減した。

併せて、発行回数を 6 回から 5 回に変更している。

今年度から、住民による活動メッセージ紹介の企画をスタートした。限られた紙面の中でも、福祉意識の啓発につながるよう、事業の通知に留まらない訴求力のある紙面作成を心掛けた。

(2) 中学校福祉教室

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

(3) 福祉教育振興助成金の交付

町内小学校3校・中学校2校へ1校当たり20,000円の助成を行い、各校での自主的な福祉教育への支援を実施しました。

学校名	活用例
島門小学校	特別支援学級児童による草花等の栽培活動、 四方の里交流会、 見守り隊感謝の手紙、もちつき集会、等
広渡小学校	
浅木小学校	
遠賀中学校	特別支援学級による工作活動、創作活動、 花壇づくり、等
遠賀南中学校	

昨年度に続き、学校側からは、コロナ禍で思うように福祉活動ができないとの声もあがっていたが、屋外での活動を増やす等、各校が創意工夫のうえ、安全面に配慮した活動を展開しており、今年度も助成の意義は達成したと考える。

IV. 他団体との協力による地域福祉の促進

1. 社会福祉法人間での連携

(1) 遠賀町社会福祉法人連絡会

9法人で開始し、社協ホームページに本連絡会の紹介と各法人ホームページへのリンクを貼ったページを作成しました。

参加法人数：9法人（昨年度：9法人）

専門福祉分野	参加法人数	法人名
高齢者	3	筑前会（遠賀園）、 福祉松快園（静光園）、 正勇会（ソレイユ遠賀）
児童	3	朝木会（南部保育園）、 遠賀会（遠賀川保育園）、 童心会（山びこ保育園）
障がい者	2	桃李会（四方の里）、 政憲会（ワークセンターおんが）
地域	1	遠賀町社会福祉協議会

実施回数：2回（昨年度：2回）

月日	参加法人数	内容
7月14日	8	実務担当者会議
3月15日	7	代表者会議

各法人に総合相談窓口を開設してもらえよう働きかけを行った。

連絡会で一つの取組みを行うことには前向きな意見が多かったが、対外的に相談事業を行っていない法人については、総合相談窓口の開設はハードルが高いとの意見が出ている。

まずは研修会を通して、総合相談窓口の仕組みから理解いただけるよう、段階的に取り組む必要がある。

(2) 墓地清掃管理事業

障がい等で就労が困難な方に新たな働き方を提供することをねらいに生まれた事業です。社会福祉法人政憲会ワークセンターおんがや社会福祉法人遠賀中間会みどり園のスタッフと協力して、高齢等の理由によって墓地清掃が困難な方を対象に、墓地清掃を代行しています。

昨年度からさらに利用者が増加しました。

延利用者数：59 件（昨年度：37 件）

月	一般 (件)	ふるさと納税 (件)	月	一般 (件)	ふるさと納税 (件)
4	2	0	10	1	3
5	0	0	11	0	1
6	0	1	12	6	2
7	1	1	1	0	0
8	14	5	2	0	1
9	8	1	3	9	3

2. 災害時対応に向けた準備

災害発生時には、町内のつながりや支え合いも重要ですが、町外の関係機関による支援の受け入れや全国的なネットワークを持つ団体との連絡調整等も大切です。復旧・復興のための力を幅広く、重層的に高めていくために、今年度も以下の協力協定の下、他機関との情報共有を行いました。

(1) 公益社団法人ひびき青年会議所との災害時相互協力協定

(2) 中間・遠賀地区社会福祉協議会間での災害時相互支援協定

(3) ロータリークラブとの災害時相互協力協定

ふるさと納税返礼品としての墓地清掃も一定の需要があり、就労支援・高齢者支援・町財源確保の3点に寄与している。

障がいのある方の就労支援を中心に据え、分野を超えた相乗効果を得ていると考える。

V. いきいきクラブ事業 【町受託事業】

遠賀町にお住まいの概ね 65 歳以上で要介護認定を受けていない方、また要支援 1 及び 2 の認定をお持ちの方を対象に、1 日 800 円で利用できる通所型サービスです。令和 3 年度からは「いきいきデイサービス」から「いきいきクラブ」に名称が変更となっています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 3 年 5 月 12 日から 6 月 21 日及び 8 月 7 日から 9 月 11 日の間は休業しました。また、9 月 14 日から 10 月 2 日の間は、条件付き（食事提供なし）でのサービス提供となりました。

休業中には自宅でできる介護予防や脳トレのチラシ等を郵送し、看護師による電話での健康相談を行いました。健康状態に変化がみられる利用者に対しては、町と連携を図り、必要に応じて病院への受診を促したり、ご家族に連絡を取ったりと迅速な対応を行い要介護状態にならないよう努めました。

延利用者数：2,700 名（昨年度：2,474 名）

開催日数：201 日（昨年度：206 日）

月	開催日数	延利用人数	月	開催日数	延利用人数
4	22	350	10	22	292
5	7	100	11	21	292
6	7	99	12	20	264
7	23	319	1	20	264
8	4	58	2	20	254
9	12	83	3	23	325

（1）介護予防の実施

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための約 2 か月間の休業で、再開後は認知機能や生活機能の低下が多くの利用者にみられたため、令和 3 年度はできるだけ休業期間を短くし開所できるように、町と協議し対策を講じました。

令和 3 年度からの新たな取り組みとして、6 か月毎に利用者の体力測定を実施しています。小倉リハビリテーション病院のスタッフの支援を受けて実施しており、測定結果をグラフ化したものを利用者に配付することで現在の身体状況の自覚を促すとともに、体力低下者や要注意者には個別リハビリ等の介入を行っています。

利用者の高齢化が進む以上、今後とも介護保険に移行する方は増加すると予想される。新規獲得に向けた新たな取り組みを模索する必要がある。

新型コロナウイルス感染を懸念し外出を控える利用者が多い。クラブ利用時には、利用者自らが自身の生活機能の低下等について自覚を持ち、介護予防のための運動等に意欲的に取り組んでもらえるような支援を行っていく必要がある。

（２）地域社会との交流の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画・予定していた交流は全て中止となりました。

（３）選べるレクリエーションの実施

コロナ禍でもできる三密を避けたレクリエーションを新たに取り入れました。

また、利用者から外出の機会が減ったため外出したいとの声が多く上がっていたため、車窓によるドライブ等を実施しました。

（４）福祉専門職との連携強化

特に独居の利用者に対しては、些細な変化等も見逃さないように努めました。利用者やその家族との関わり方、現状と問題点等の課題を把握し、その解決につながるよう町の保健師と連携を図りました。

【行事・イベント】

延参加者数：264名（昨年度：74名）

開催日数：25日（昨年度：5日）

行 事	開催日	参加者数
鯉のぼりドライブ	4月20日（火）～24日（土）	59
買物レクリエーション	中止	
コスモスドライブ	10月12日（火）～16日（土）、 10月19日（火）、 10月22日（金）	52
成田山ドライブ	11月2日（火）～6日（土）	53
おもしろカー大会	中止	
口腔教室	2月8日（火）～12日（土）	64
お花見ドライブ	3月29日（火）、 3月30日（水）	36

Ⅵ. 地域子育て支援拠点事業 【町受託事業】

子育て支援ひろば「ぐっぴい」、出張ひろば「おでかけぐっぴい」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月、6月、8月は一部休館、9月は全日休館となりました。また、延べ2か月近くの間、町内在住者のみの利用となりました。

子育て親子の交流の場の提供、子育てに関する相談・援助を行うとともに、各種講座は少人数制で実施しました。

【ぐっぴい】

延利用者数：1,870名（昨年度：1,794名）

延利用世帯数：796世帯（昨年度：769世帯）

開所日数：180日（昨年度：202日）

	大人(名)	子ども(名)
町内	680	850
町外	155	185

月	開所日数	世帯数	大人(名)	子ども(名)
4	21	77	77	113
5	5	15	15	23
6	7	24	26	26
7	21	99	105	135
8	4	21	22	33
9	閉 所			
10	22	147	153	191
11	19	117	122	140
12	20	120	128	159
1	20	66	71	77
2	18	51	57	67
3	23	59	59	71

利用者数は昨年とほぼ同じ数を推移し、コロナ前の半数以下である。利用者の年齢は、2歳以下が80%以上を占めている。

町内の新規利用者リピート率は91%で、週に数回利用される方、家族揃っての利用も増えている。

【おでかけぐっぴい】

延利用者数：131名（昨年度：397名）

延利用世帯数：129世帯（昨年度：170世帯）

開所日数：27日（昨年度：34日）

	大人（名）	子ども（名）
町内	124	160
町外	7	11

月	開所日数	世帯数	大人（名）	子ども（名）
4	4	20	22	28
5	0	0	0	0
6	1	2	2	2
7	2	7	7	10
8	1	6	6	10
9	閉 所			
10	2	14	14	19
11	2	7	7	8
12	3	16	16	21
1	4	9	9	10
2	3	12	12	15
3	5	36	36	48

(1) 子育て講座の開催

月	講座名	世帯数	人数
5	乳幼児リトミック	中止	
	《地域支援》マーフィさんのえいごタイム	中止	
6	《地域支援》おんがにじの会 催し物	中止	
7	水遊び	24	57
	《地域支援》七夕まつり	中止	
9	親子ミニ防災教室	中止	
	《地域支援》おんがにじの会 催し物	中止	
	《地域支援》マーフィさんのえいごタイム	中止	
10	おもちゃ作り教室	5	10
	ハロウィン ※ぐっぴいのみで実施	41	99
11	親子ヨガ教室	5	10
	おもちゃ作り教室	5	10
	《地域支援》マーフィさんのえいごタイム	10	24
12	クリスマス会	49	123
1	《地域支援》マーフィさんのえいごタイム	6	16
2	口腔指導教室 ※個別対応	6	16
	ママのためのハンドマッサージ	中止	
3	ふれあい遊びとヨガ教室	5	11
	《地域支援》おんがにじの会 催し物	中止	
	《地域支援》お花見さんぽ	中止	

(2) 地域支援事業

地域支援とは、地域の方との交流や地域の資源を活用して行う活動のことです。今年度の「おんがにじの会」の催し物は、中止となりました。

新規の地域支援事業は、遠賀町在住のマーフィ夫妻による「マーフィさんのえいごタイム」を実施しました。

（３）子育て運営協議会の開催

地域子育て支援拠点事業の推進について協議する運営協議会を開催しました。

	月日	内容
第１回	７月７日	・令和２年度実績報告 ・令和３年度事業計画
第２回	３月２９日	・令和３年度実績経過報告 ・令和４年度事業計画

（４）子育て相談員による子育て相談日の開設

子育てに不安を感じている保護者支援のため、子育て相談を行っています。相談員として元遠賀川保育園の安増直美先生に依頼し、月２回実施しました。

延相談件数：３９件（昨年度：２６件）

月	件数	月	件数	月	件数
４	５	８	０	１２	２
５	１	９	閉所	１	５
６	２	１０	５	２	３
７	７	１１	７	３	２

相談内容は、食事や言葉等が多い。言葉の相談は、役場に繋ぐことの多い相談となる。

コロナ禍で家の中で過ごす時間が多くなり、子育てに不安を感じている保護者への支援として、一定の役割を果たしている。

（５）ＰＲ活動

新型コロナウイルス感染症対策の開所閉所に関する情報等をホームページにて周知を行いました。また、近隣の施設に行事のポスターの掲載を依頼しました。

Ⅶ. 障がいを抱える方への支援の推進

(1) 障がい者つどい場事業

遠賀郡身障会福祉連合会パラスポーツ&レクリエーション交流大会との共催で実施しました。

郡主催で行う交流大会の打ち合わせと協力団体との連絡調整、大会当日の運営補助として参加し協力を行いました。

実施日：12月12日

参加者数：86名



(2) 視覚障がいのある方等への音の広報誌（音訳CD）の貸出

例年通り実施しました。現在、定期的に2名の方が利用しています。また、遠賀町役場福祉課の窓口にも設置しました。

Ⅷ. 生活困窮者への支援の推進

新型コロナウイルス感染防止対策の影響による経済活動の低迷は依然として続いており、特例貸付事業の受付期間は当初の終了日から大きく延長され、現在まで続いています。それに伴い、本会も継続した窓口対応を行いました。

(1) 生活福祉資金貸付事業 【県社協受託事業】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策による生活困窮世帯（減収・失業等）への経済支援策として、令和2年度に開始となった「特例貸付事業」は、現在も続いており、継続した窓口対応を本会でも行いました。

現在、初回申請のみ、受付期間が令和4年6月末まで延長になっています。

【特例貸付】

緊急小口資金：一世帯上限 20 万円

総合支援資金：①単身世帯…上限 15 万円×3 か月以内

②複数世帯…上限 20 万円×3 か月以内

延 受 付 件 数：122 件 50,090,000 円（昨年度：223 件 79,050,000 円）

内、貸付決定数：104 件 46,240,000 円

内、不承認数：18 件 3,850,000 円（単位：件）

月	緊急小口資金	緊急小口資金 追加	総合支援資金	総合支援資金 延長	総合支援資金 再貸付
4	6	0	4	2	0
5	9	0	2	5	2
6	4	0	6	12	4
7	4	0	4	1	8
8	3	0	4	0	8
9	1	0	2	0	4
10	1	0	2	0	2
11	3	0	1	0	2
12	0	0	2	0	0
1	0	0	3	0	0
2	1	0	5	0	0
3	3	0	2	0	0

貸付事業は、自立支援を目的としているが、特例貸付に関しては、減収、失業の理由が新型コロナの影響であれば、申請可能となっており、申請件数の何倍もの相談があった。

中には、食料支援等必要なケースもあり、本会の食糧支援の活用や生活困窮者自立支援事業所等関係機関と連携して柔軟な対応を行った。

総合支援資金延長及び再貸付では、生活困窮者自立支援事業所での書類の作成や償還能力の確認等、審査のハードルが高いためか、不承認件数が多くなっている。

【生活福祉資金】

福祉資金 緊急小口資金：7件 298,000 円（昨年度：3件 170,000 円）
 福祉資金 障害者自動車購入費：1件 1,970,000 円
 教育支援資金 就学支度費：1件 339,000 円（昨年度：1件 271,000 円）

（２）ふくおかライフレスキュー事業への参画

既存の公的制度では対応できない臨時的緊急的ニーズに対応する社会貢献の取り組みです。生活困窮者に対して、その住居、衣食、その他日常の生活必需品もしくはこれに要する金銭を支援すると共に生活に関する相談に応じ、課題の解決に努めます。

管理者の指揮のもと、サポーターと呼ばれる実働者が業務の実務を担います。

本年度は、実際の利用はありませんでしたが、対応できる職員を増やすためサポーター養成研修に参加しています。

（３）フードドライブへの協力

社協だよりや本会ホームページに食品募集記事を掲載し、ふれあいの里館内に回収箱を設置して募集に努めました。町内の篤志者から食品の寄付をいただいた食料品、またライフレスキュー事業からセブンイレブンより寄贈があった食料品・調味料等を、町内の「NPO 法人つどい」が実施する「えがお食堂」と別府区にある地域食堂「ちくようごはん」へ無償提供を行いました。

緊急小口資金は、生活保護の申請から受給開始までのつなぎとして、貸付対応を行った。

緊急性を要すると思われる生活保護申請中の方へのつなぎとして貸付を行った。

食料を長期的にストックできる環境ではないので、寄贈品は、できるだけ早く食堂等に配送するようにしている。

寄贈元	種類	配布先
一般住民	米・缶詰・レトルト食品 乾燥麺・野菜、等	<ul style="list-style-type: none"> ・ えがお食堂 ・ ちくようごはん ・ 年末見舞金申請希望者 ・ 生活福祉資金特例貸付申込者等の生活困窮者
セブン イレブン	レトルト食品・飲料水・ スナック菓子、等 計 19 箱	
	やげん軟骨 720 個	
	ソフトクリーム 260 個	
	雑貨 23 箱	
製麺所	生麺	

※製麺所は、直接えがお食堂へ連絡してもらうように調整

（４）生活保護世帯等一時貸付事業

生活保護受給までのつなぎ資金として、短期間の生計維持のため貸付を行いました。

また、昨年度から引き続き、滞納者に対しては郵送や電話での督促を行い、償還を求めています。

延利用者数：1件 20,000円（昨年度：1件 50,000円）

（５）緊急用食糧等給付事業

新型コロナウイルス感染症の影響で、生活が困窮した世帯に対して、一時的支援を行うために、急遽始めた事業です。

生理用品配布事業から始め、その後生活福祉資金の受付や自立相談支援事務所（困りごと相談室）との関わりの中で、金銭に余裕がなく食べるものがないという声を聞くことがあり、緊急的支援として食料品の配布を始めました。

福祉課生活保護担当や困りごと相談室、生活福祉資金申請者等、生活困窮者対策の事業や機関との関わりの中で、必要性がある場合に限って、食料品を3日分程度配布しています。

フードドライブ事業でいただいた生理用品や食料品を活用するとともに、歳末たすけあい募金を活用して事業を実施しました。

【生理用品】

延配布数：6件

【食料品】

延配布数：10件（5名）

この事業は、一時的支援のため申請等は不要で始めている。

生理用品の受け渡しには、申請者を不快な気持ちにさせないように、女性職員が対応し、配慮した。食料については、安易な配布にならないよう関係機関からの紹介や制度の利用を前提に対応している。

第190号
「おんが」 社協だより (4)



必要な方に生理用品をお渡ししています

ーコロナ禍で生理用品の購入にお困りの方へー

女性の負担を少しでも軽減したいという考えから、生理用品を無償配布いたします。

本会窓口やふれあいの里トイレに設置された引き換えカードをご提示ください。女性スタッフが対応いたします。お声に出さなくてもお渡し可能です。

生理用品引き換えカード

・このカードを遠賀町社会福祉協議会窓口で提示してください。

・声に出さなくても大丈夫です。

・お名前等をお知らせすることはありません。

社会福祉法人遠賀町社会福祉協議会

☎ 293-0430

遠賀町浅木二丁目31番1号

ふれあいの里センター内

生理の貧困をなくそう

すべての女性に、衛生と安心を

令和3年9月25日発行「社協だより190号」より

Ⅸ. 相談支援・権利擁護事業の拡充

(1) 心配ごと相談事業

弁護士や心配ごと相談員から、日常生活での困りごとや悩みへの解決に向けた助言とアドバイスを受けられる機会となっています。

新型コロナウイルス感染防止の観点から、9月は中止しました。また、4、5、2月は民生委員等による心配ごと相談は中止し、法律相談のみ実施しました。

延相談件数：47件（昨年度：48件）

月	件数	月	件数	月	件数
4	6	8	1	12	5
5	2	9	中止	1	3
6	3	10	8	2	4
7	4	11	4	3	7

(2) 日常生活自立支援事業 【県社協受託事業】

訪問調査や契約、計画書の作成等の事務を本会で行うようになり、利用者が増えつつあります。本会では、専門員及び生活支援員を職員が行っており、他事業と兼務での対応となっています。このまま利用が増える場合に備え、福岡県社会福祉協議会が実施する研修会に参加し、複数人で対応できるようにしていく必要があります。

また、利用者については、認知症等の進行により、成年後見制度に移行する必要があるケースも出てきています。

延利用者数：120名（昨年度：110名）

月	高齢者	障がい者	月	高齢者	障がい者
4	5	4	10	7	5
5	5	4	11	6	4
6	6	4	12	6	4
7	6	4	1	6	4
8	6	4	2	6	4
9	6	4	3	6	4

全中止が1回、一部中止が3回あったが、概ね昨年度と同数の利用があった。

最も多い相談は、近隣トラブル等による法律相談で、次いで相続等の財産トラブルにかかる相談となっている。この傾向は、近年、変わっておらず、一定したニーズに対応するため、今後も事業を継続する。

現在対応している職員は2名で、専門員1名、生活支援員1名、どちらも他の業務と兼務している。利用者に対して複数人が対応できるようにしておく必要がある。

利用者の中には、認知症状の進行により本事業の対象から外れつつある方がいる。今後の対応として成年後見制度への移行について、地域包括支援センターと協議を行う必要がある。

X. その他の事業

(1) 介護ベッド・車椅子の貸出

介護用ベッドや車椅子が必要な世帯への貸出を行いました。

新型コロナウイルスワクチン接種会場に車椅子を貸し出す等、柔軟な対応を行いました。

延利用者数：63名（昨年度：64名）

介護用ベッド：4名（昨年度：6名）

車いす：59名（昨年度：58名）

(2) レクリエーション機材の貸出

地区ネットワークや福祉施設等から申出があり、イベントで使用する輪投げ、ラダーゲッター、特大サイコロ等の貸出を行いました。

延利用件数：24件（昨年度：8件）

(3) 臨地実習生の受入れ

福岡・医健スポーツ専門学校の看護学生の実習を受け入れています。

新型コロナウイルス感染予防のため、学校側の申し出により8月以降は実習中止となりました。

延実習受入日数：1日（昨年度：中止）

延実習受入人数：4名（昨年度：中止）

実習日	人数（人）
7月13日	4
8月19日	中止
9月2日	中止
9月16日	中止

車椅子は、昨年に引き続き、ワクチン接種会場へ貸出を行った他、選挙や身体障がい者福祉協議会の行事の際にも貸し出しており、利用を求める声は広がりを見せている。引き続き、柔軟な対応が必要。

レクリエーション機材の貸出件数は、昨年度の3倍となった。主に新型コロナウイルス感染者が減ってきた時期に申請があり、コロナ禍でも工夫を凝らし、活動したい地域の姿勢が窺える。

社会福祉法人福岡県共同募金会遠賀町支会の取り組み

福岡県共同募金会遠賀町支会理事会

開催回	開催日	協議内容
第1回	書面決議 会長署名日： 5月28日	議案第1号「令和2年度福岡県共同募金会遠賀町支会事業報告及び共同募金会計資金収支決算書（寄付金・事務費）について（監査報告）」
第2回	6月17日	議案第1号「理事の選任について」 議案第2号「監事の選任について」 議案第3号「支会長及び副支会長の選任について」
第3回	9月22日	議案第1号「令和3年度共同募金運動の実施計画について」
第4回	書面決議 会長署名日： 11月1日	議案第1号「福岡県共同募金会遠賀町支会会則の一部改正について」 議案第2号「理事の選任について」 議案第3号「監事の選任について」 議案第4号「支会長及び副支会長の選任について」
第5回	12月17日	議案第1号「令和3年度歳末たすけあい募金の配分計画について」
第6回	3月22日	議案第1号「令和4年度福岡県共同募金会遠賀町支会事業計画及び共同募金寄付金・本部サービス区分会計予算書について」

(1) 赤い羽根共同募金運動 10月1日～3月31日(法定運動期間)

【赤い羽根共同募金】

実施日	活動名	内容	奉仕者数
10月1日	街頭募金運動	啓発活動として、社協役職員により、「ゆめタウン遠賀店」にて街頭募金を実施	14名 (内職員3名)
10月1日 ～ 12月7日	戸別募金	区長会にて、各区での戸別募金運動について協力を要請	
9月25日	社協 だより 掲載	令和3年度共同募金実施計画掲載と共同募金チラシの折り込みにより掲載	全戸配布
10月5日 ～ 11月27日	法人募金運動	社協役職員により、町内の法人、事業所を訪問し、募金への協力依頼を実施	6名 (内職員6名)
10月1日 ～ 12月31日	寄付つき商品	事業所等が提供する商品等を購入するごとに、売り上げの一部が共同募金会に寄付されるしくみ平成29年度からスタートした。	5社

街頭募金の際は、声掛けはせずに、音声ガイダンスでの募金協力依頼を行った。法人募金も振込依頼を行い、対面での接触をなるべく避けるように努めた。

今後もコロナウイルス感染拡大防止に努め、新たな取り組みを検討していく。

共同募金実績 合計：3,410,495 円（昨年度：3,348,407 円）

活動名	内容	実績額（円）
戸別募金	区長を通じて各戸別に協力を依頼	1,865,180
法人募金	法人・事業所を訪問し、募金を依頼	1,097,500
イベント募金	福祉まつり開催時に街頭募金を実施	0
職域募金	各職域にバッジ・図書カード等を販売	338,509
街頭募金	ゆめタウンでの啓発募金活動他	47,931
募金箱	遠賀町役場やふれあいの里等に設置	17,982
その他の募金	赤い羽根自動販売機	17,878
	寄付つき商品	8,146
	任意団体からの寄付 (岡垣第一幼稚園)	17,367
	預金利息	2

（２）歳末たすけあい募金運動 12月1日～12月31日

歳末たすけあい募金実績 合計：469,946 円（昨年度：479,427 円）

実施日	活動名	内 容	奉仕者数	募金額（円）
10月1日 ～ 12月7日	戸別募金	区長会にて、各区での募金運動について協力を要請		466,320
12月1日	街頭募金	社協職員等によりゆめタウン玄関前にて実施	9名	3,626

配分内容

配分内容	配分額（円）	備 考
要援護世帯への支援金	141,000	47名
緊急用食料等給付事業	66,229	
社協だよりの発行	262,717	